

# 令和3年度の取り組み実績及び 令和4年度の取り組み予定について

---

令和4年9月12日

静岡県東部地域大規模氾濫減災協議会

## 令和3年度取組実績

**重点取組事項：平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項**

**取組項目：・住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進（取組番号：23）**

住民一人ひとりが行政に依存することなく計画的な避難行動を行うためのマイ・タイムライン作成について各地区ごとの水害リスクを整理し市内の洪水常襲地区である大平地区に対し説明を行った。



大平地区での説明会の様子

## 令和4年度取組予定

**重点取組事項：平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項**

**取組項目：・住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進（取組番号：23）**

住民一人ひとりが行政に依存することなく計画的な避難行動を行うためのマイ・タイムライン作成について大平地区以外の対象地区に対し説明を行っていく。

説明用資料(おもて面)



説明用資料(うら面)



## 令和3年度取組実績

重点取組事項：防災施設の整備等  
取組項目：多数の家屋や重要施設等の保全対策  
（取組番号：43）

沼川(高橋川)流域豪雨災害対策アクションプランに基づき、青野排水路に逆流防止ゲート設置、青野排水機場増強のための詳細設計実施及び井戸川雨水貯留池（ダム形式貯留施設）の整備工事に着手した。



貯留池位置図

## 令和4年度取組予定

重点取組事項：防災施設の整備等  
取組項目：多数の家屋や重要施設等の保全対策  
（取組番号：43）

沼川(高橋川)流域豪雨災害対策アクションプランに基づき、青野排水機場増強工事及び井戸川雨水貯留池（ダム形式貯留施設）の整備工事を行っていく。



井戸川雨水貯留池整備予定地(下流側からのイメージ)

## 令和3年度取組実績

重点取組事項：②洪水時における情報提供の充実

取組項目：ICT等を活用した洪水情報の提供  
(取組番号：06)

大雨や洪水などが発生した際に、国の監視システムの情報等の確認や現場の見廻りを行った上で、一級河川に繋がる樋管の開閉を判断していたが、情報収集などに要する時間を短縮し、迅速な判断ができるようにするため、令和2年度より樋管の内水側に河川監視カメラ及び水位センサーを設置している。また、迅速な避難情報の発令のため、大雨による急激な水位上昇が見込まれる中小河川に監視カメラ等を設置している。

令和3年度においては、河川監視カメラ3基（累計5基）及び水位センサー4基（累計6基）の設置を行った。



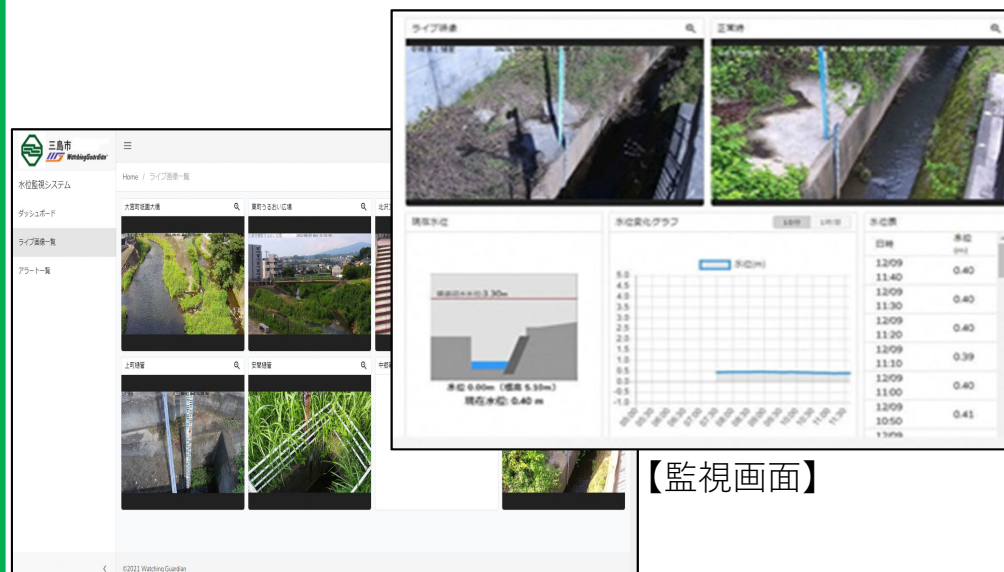
【監視カメラ/水位センサー設置状況】

## 令和4年度取組予定

重点取組事項：②洪水時における情報提供の充実

取組項目：ICT等を活用した洪水情報の提供  
(取組番号：06)

市河川監視カメラ映像及び水位センサーのデータは、パソコンやスマートフォンでの閲覧が可能であることから、令和4年度においては、浸水被害の可能性がある地域住民へ出水状況をリアルタイムで情報提供する。また、今後も監視が必要と思われる箇所へ、監視カメラ等を設置していく。



【監視画面】

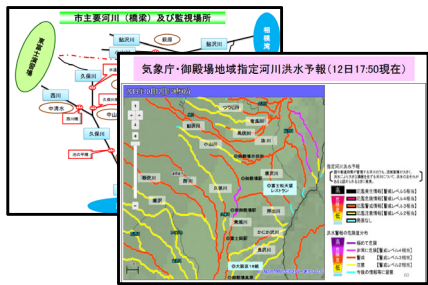
【監視場所一覧画面】

## 令和3年度取組実績

**重点取組事項：①防災教育等の促進**  
**取組項目：防災教育の推進（取組番号：20）**

令和3年度においては、35の対象団体、合計約2,600名の方に対し、防災出前講座を実施した。

その中でも10団体（学校、病院、民生委員・児童員協議会部会など）に、風水害への日頃からの備えや、避難行動等について、防災教育を行った。



教育資料①



教育資料②(洪水ハザードマップ)



出前講座の様子①



出前講座の様子②

## 令和4年度取組予定

**重点取組事項：①防災教育等の促進**  
**取組項目：防災教育の推進（取組番号：20）**

今後も、各学校や自主防災会をはじめとする出前講座の要望について、積極的に対応していく。

また、県危機政策課、東部地域局の支援のもと完成した、わたしの避難計画について、風水害に対する住民の訓練や、防災教育の場で活用するとともに、今後の運用と更なる整備について検討・精査していく。



わたしの避難計画

## 令和3年度取組実績

**重点取組事項：①防災教育等の促進**  
**取組項目：住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進（取組番号：23）**

6月26日に市民文化センターで行った自主防災会訓練会のメニューの一つとして、住民一人ひとりの行動計画表「マイ・タイムライン」の必要性を説明し、参加者に作成実習をしてもらった。

自主防災会役員や区長、地域地震防災指導員など約160名が参加。限られた時間の中で、実習にかかる時間が少なくなってしまったのは反省だが、コロナの影響で今まで説明会の場を設ける機会を逸していたため、ハザードマップを見てもらい身近なリスクを知ってもらうこと、タイムラインの必要性や作成手順は概ね理解していただけたと感じている。



## 令和4年度取組予定

**重点取組事項：①防災教育等の促進**  
**取組項目：避難訓練への地域住民参加の促進（取組番号：21）**

令和3年7月の大雨時に市内で一番降水量が多かった千福が丘地区をモデル地区に選定し、土砂災害モデル地区訓練を実施する。

- ・避難中の危険個所の確認、避難所の資機材確認等のほか、避難所の開設体験などを実施。
- ・県防災アプリの機能を活用することで、避難所の受付に係る時間が大幅に短縮できることを体験してもらう。
- ・地区防災計画の見直しへの協力を呼びかけ

0830	大雨洪水警報発表表	
09:00	避難指示対象地域事前連絡	共助活動
09:30	土砂災害警戒情報発表表	②③④ 支庁 支庁 支庁
09:40頃	「避難指示」発令	②③④ 支庁 支庁 支庁
09:40~10:50	・避難開始(要配慮者〜一般住民) ・区避難場所(公民館)へ避難 ※県防災アプリ(避難所支援機能)活用準備	
10:50~11:25	研修(現地確認) ※ 公民館〜小学校体育館 ★ FCEV活用による給電展示 (トヨタ販売店支援)	
11:25~11:50	訓練研究会	
11:50~12:00	訓練の締め(区長・市長等所見等)	
12:00	解散	

09:00	区長へ事前連絡	
09:00~09:30	区内情報共有 ・区役員呼集 ・7班住民へ連絡等	
09:30	「土砂災害警戒情報」回報無線	
09:40	「避難指示」発令	★避難開始 ★要配慮者 ★避難支援
10:20	「避難完了」安否確認 ◇ 健康状態等確認(検温) ◇ 避難場所の指定(区分) ★ 一時 訓練状況終了 ~10:40 県防災アプリ活用準備 「避難所運営支援機能」情報入力 小学校体育館へ移動	
10:40~		

② 研修(現地確認)	~10:50 町内会館から移動 10:50~11:00 避難者受入実習(研修) 11:00~11:05 避難所開設状況確認 11:05~ 町内会館へ移動
①【指定避難所(小学校体育館)】	08:50~09:00 広域避難地到着 09:00~10:00 避難所の開設 避難者受入れ準備等 ※ 町内会館の区の状況を確認(研修) ~10:50
③ 訓練研究会・訓練の締め	~11:15 小学校体育館から移動 11:15~11:25 FCEVの給電状況展示 11:25~11:50 訓練研究会 ・訓練全般説明 ・訓練振り返り ・重点事項検証・討議 11:50~12:00 訓練の締め(所見) ・7班参加者 ・自主防会長 ・区長 ・市長 12:00~ 連絡事項、訓練終了 ※ 防災備蓄食配布 ※ アンケート(回収)

★ 避難に際し、  
① 避難経路 ② 危険箇所  
を現地確認  
※ 県防災アプリの投稿モニタ  
機能活用(自主防会長等)

## 令和3年度取組実績

**重点取組事項：洪水時における情報提供の充実**  
**取組項目：重要インフラの機能確保（取組番号：47）**

大雨や台風時の河川に関する危険情報等を速やかに市民に届けられるよう、同報無線のデジタル化事業を実施した。

令和2年度に実施設計を完了し、令和3年度から市内全域で工事を着手した。

本事業にて難聴地域への子局新規設置や、高性能スピーカーの導入により、今まで放送が聞こえていなかった地域に放送が届くようになった。

### ●パンザマストの更新箇所数

※令和3年度

68／163基（42%）

※令和4年度

95／163基（58%）



## 令和4年度取組予定

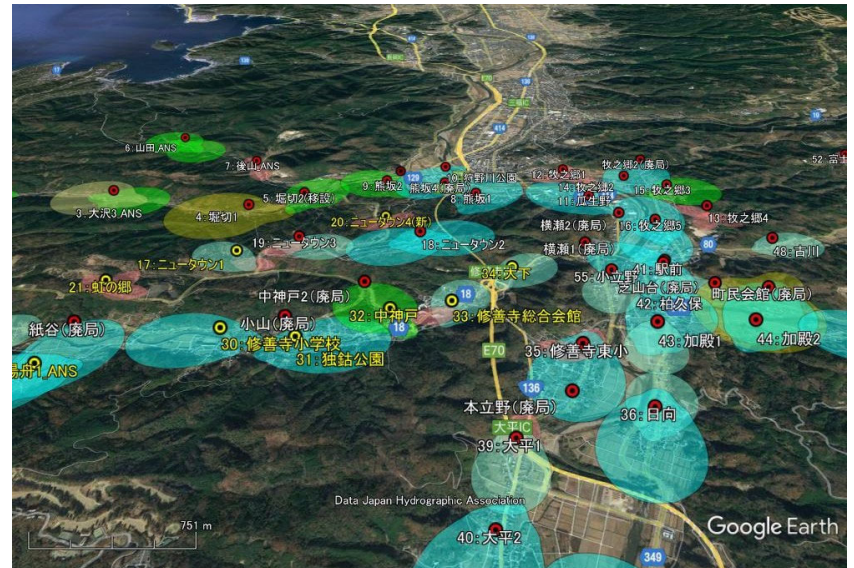
**重点取組事項：洪水時における情報提供の充実**  
**取組項目：重要インフラの機能確保（取組番号：47）**

引き続き、同報無線デジタル化工事を進めるとともに、自宅で放送が受信できる戸別受信機の設置を実施する。

### ●戸別受信機の

設置希望世帯数 991／

2500世帯（令和3年度調査）



令和3年度取組実績

重点取組事項：②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項  
 取組項目：住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進（取組番号：23）

県と共に2回のワークショップを実施し、菟山地区（南條区）において、早期避難を意識づける取組として「わたしの避難計画」を作成。

「わたしの避難計画」

ワークショップ

令和4年度取組予定

重点取組事項：②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項  
 取組項目：住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進（取組番号：23）

長岡地区及び大仁地区へ「わたしの避難計画」の作成支援を行い、普及展開し早期避難を意識づける取組を行っていく。

「わたしの避難計画」



令和3年度取組実績

重点取組事項：③円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する事項

取組項目：洪水予測や水位情報の提供の強化  
(取組番号：25)

6月に河川支流監視カメラを宗光寺地区に設置。  
3月に沼津河川国道事務所・株式会社TOKAIケーブルネットワークとの相互情報共有でき、洪水被害等の予防や迅速な避難指示等につなげていくための協定を締結した。



河川支流監視カメラ



カメラ映像



協定締結式



相互情報

令和4年度取組予定

重点取組事項：①情報伝達、避難計画等に関する事項

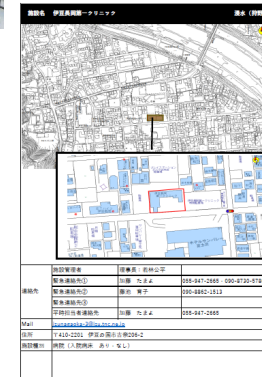
取組項目：要配慮者利用施設における避難確保計画の作成及び避難訓練の実施  
(取組番号：14)

市内85施設ある要配慮者利用施設と災害時の情報連絡体制を確立するため、避難確保計画作成の説明会を実施し、避難行動タイムラインを確認させ、台帳を整備することにより、避難の実効性を確保していく。



説明会

避難行動タイムライン

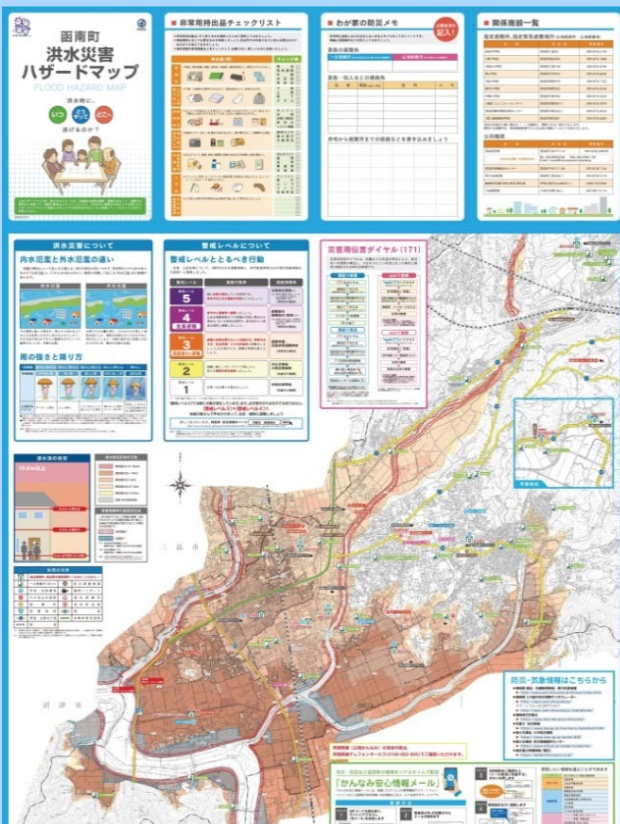


連絡体制台帳

令和3年度取組実績

重点取組事項：①防災教育等の促進  
取組項目：防災教育の推進（取組番号：20）

児童・自主防災組織などを対象に防災意識向上のため風水害等の避難行動に関する防災出前講座を実施した。（平成23年度から自治会および小中学校等へ防災出前講座を開始し、令和3年度末までに累計243団体、19,567人へ実施した。）



防災出前講座の様子



函南町洪水災害ハザードマップ(R2.3)

令和4年度取組予定

重点取組事項：①防災教育等の促進  
取組項目：防災教育の推進（取組番号：20）

令和4年度も引き続き、積極的に児童・生徒・自主防災組織などを対象に防災意識向上のため風水害等の避難行動に関する防災出前講座を実施する。



令和3年度に更新した「函南町防災マップ」を活用



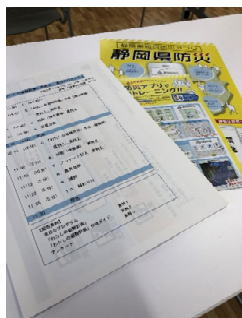
函南町防災マップ(R4.3)

## 令和3年度取組実績

重点取組事項：②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

取組項目：住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進（取組番号：23）

「わたしの避難計画」の作成講座をモデル地区に実施した。町民一人ひとりが、想定される全ての災害リスク（地震・河川氾濫、土砂災害）に対して、それぞれの災害ごとの適切な避難行動を整理し、冷蔵庫等の身近な場所に張り出し迅速な避難ができるようにすることを目的としている。



講座の資料

私の避難計画表



講座の様子①



講座の様子②

## 令和4年度取組予定

重点取組事項：②多様な主体による被害軽減対策に関する事項

取組項目：堤防等河川管理施設の整備（洪水氾濫を未然に防ぐ対策）（取組番号：41）

適切な河川管理のため、徳倉地区の江川（普通河川）の護岸等を毎年、地元自治会・青年団にて草刈りを行っていたが、洪水氾濫を未然に防ぐという意味では根本解決にはなっていなかった。令和4年度からは、河川管理者側施工により護岸の草木の除去とともに防草シート敷設等を行い、根本解決を図ることとした。なお、施工は下流側から着手し、全体計画は5か年を予定している



江川 作業前



江川 作業後



除草作業中①



除草作業中②

# 令和3年度の取り組み実績・令和4年度の取り組み予定【長泉町】

## 令和3年度取組実績

重点取組事項：②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項  
取組項目：地域防災力の向上のための人材育成（取組番号：24）

自主防災会等と職員との共同でコロナ禍における避難所運営訓練を実施し、発災時の地域防災力の向上を図った。



受付の様子



世帯カードの記入



防護服の着用方法

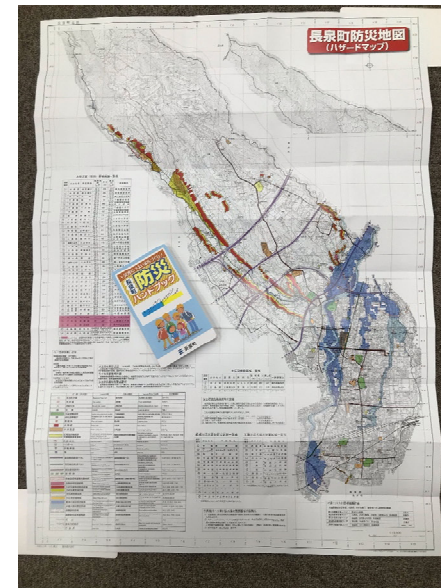


段ボールベットの組み立て方法

## 令和4年度取組予定

重点取組事項：①情報伝達、避難計画に関する事項  
取組項目：水害危険性の周知促進（取組番号：05）

定期的に浸水想定区域や土砂災害警戒区域等の災害時の危険箇所を周知し、災害時の避難行動等を検討していただくため、携帯可能な折り畳み式のハザードマップを全戸に配布する。



表面（ハザードマップ）



裏面（防災情報）

18,200部

## 令和3年度取組実績

**重点取組事項：水防訓練の充実**  
**取組項目：土砂災害訓練の実施（取組番号：32）**

小山町は、過去より土砂災害による被害を度々受けているため、町内警戒区域を対象に、土砂災害に対する住民避難訓練・水防訓練を例年6月に実施している。令和3年度は、足柄地区を対象に夜間住民避難訓練を行い、コロナ禍の避難所運営について、感染症対策を講じて検証した。また、翌日は同地区の公園で、自主防災会、消防団、防災士連絡会を対象に水防訓練を行い、土のう作成や無線通信訓練、ロープ結索等を学んでもらった。



感染症対策やプライバシー確保のために、間仕切りシートを組み立てる（R3.6月 小山高校体育館）

## 令和4年度取組予定

**重点取組事項：水防訓練の充実**  
**取組項目：土砂災害訓練の実施（取組番号：32）**

鮎沢川の水位周知河川指定を受けて、洪水ハザードマップを作成、対象地区に配付した後、県との共催で5月に3回の説明会を開催した。6月には、土砂災害に対する住民避難訓練を小山1区～4区、所領区を対象に行い、鮎沢川の水位が増し、さらなる危険が迫ったとの想定で、指定避難所の健康福祉会館から町内企業への住民避難を自衛隊車両等の協力を得て初めて実施した。



自衛隊車両による指定避難所から信濃食品工業(株)富士小山工場への避難（R4.6月 小山町健康福祉会館）

## 令和3年度取組実績

**重点取組事項：**水防関係者間での連携、協力に関する検討  
**取組項目：**構成市町防災担当者連絡会議（取組番号：33）

### ○概要

令和3年6月に、駿東伊豆消防本部管内の**構成市町4市3町**（沼津市・清水町・函南町・伊豆の国市・伊豆市・伊東市・東伊豆町）**防災担当者との情報連絡会議を開催した。**

### ○内容

・管内において、地震、土砂・風水害等の大規模災害が発生した際に、構成市町防災部局と円滑な災害対応が行われるよう、連携強化を図ることを目的として、**各機関の災害対応体制を再確認した。**

・構成市町において災害対策本部が設置された場合、管轄消防署から**情報連絡員（リエゾン）を派遣し、構成市町と情報共有する。**

・今後も、災害発生時に素早い対応ができるよう顔の見える関係を構築し、連携を密にしていく。

## 令和4年度取組予定

**重点取組事項：**水防関係者間での連携、協力に関する検討  
**取組項目：**緊急消防援助隊進出拠点の確保（取組番号：33）

○令和3年7月の熱海市土石流災害において、緊急消防援助隊の進出拠点（活動拠点・宿営場所等）の確保に苦慮したことから、**各構成市町と協議、調整し、複数の進出拠点候補地を確保する。**

○地震、土砂・風水害時における緊急消防援助隊の迅速かつ効果的な活動を実現するため、当消防本部の指揮本部体制を見直すなど災害対応能力の向上を目指す。

### 重点取組事項：水防訓練の充実

**取組項目：**建設業協会との重機合同連携訓練（取組番号：32）

○令和3年7月から重機隊の運用を開始し、熱海市土石流災害にて活動した。以後、より高度な操作技術を求め、建設業協会に協力を依頼し、技術指導を受けている。

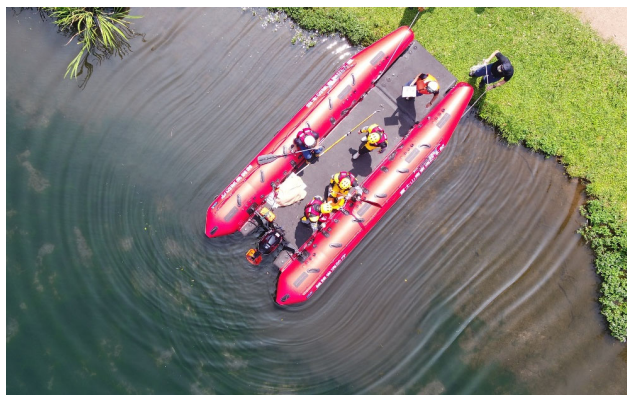
○令和4年度は、関係機関との連携強化及び操作技術の高度化を目的として、**建設業協会・消防機関（駿東伊豆消防本部・静岡市消防局）において、土砂災害対応連携訓練を実施する。**



令和3年度取組実績

重点取組事項：浸水域での救出訓練の実施  
取組項目：水防訓練の実施（取組番号：32）

水害時に浸水域で活用する救命ボートの取扱い訓練を実施した。



令和4年度取組予定

重点取組事項：浸水域での救出訓練の実施  
取組項目：水防訓練の実施（取組番号：32）

救命ボートを使用して水難訓練を実施した。  
引き続き訓練を実施する。



### 令和3年度取組実績

重点取組事項：②洪水時における情報提供の充実  
取組項目：水害危険性の周知促進（取組番号：5）

警報発令により、1次招集配備体制（担当課の招集）を取り、市町危機管理部局との連絡体制を確保し、降雨量の定時報告、及び河川水位状況を必要により適時報告した。

時間	10分最大 (mm)	1時間最大 (mm)	2時間最大 (mm)	3時間最大 (mm)	4時間最大 (mm)	5時間最大 (mm)	6時間最大 (mm)	7時間最大 (mm)	8時間最大 (mm)	9時間最大 (mm)	10時間最大 (mm)	24時間 (mm)
01:00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
02:00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0
03:00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
04:00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
05:00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
06:00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
07:00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
08:00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
09:00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
10:00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
11:00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
12:00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
13:00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
14:00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
15:00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
16:00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
17:00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
18:00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
19:00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
20:00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
21:00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
22:00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
23:00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
24:00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
雨量観測 地点数	18ヶ所	18ヶ所	18ヶ所	18ヶ所	18ヶ所	18ヶ所	18ヶ所	18ヶ所	18ヶ所	18ヶ所	18ヶ所	18ヶ所
雨量計 設置数	06ヶ所	10ヶ所	09ヶ所	10ヶ所	09ヶ所	10ヶ所	09ヶ所	10ヶ所	09ヶ所	10ヶ所	09ヶ所	10ヶ所

降雨記録

河川名	水位観測場所	運用上流 までの高さ (m)	観測断面 水深 (m)	観測断面水深 までの高さ (m)	備考
小川	扇岡橋	2.3m	1.8m	0.5m	11.00頃
	志村橋	2.9m	2.3m	0 m	11.05
大川	徳乃原 南側	1.3m	1.0m	0.3m	11.10
	岩瀬川 川島田	1.0m	0.5m	0.5m	--

※1 川底から観測した高さの差を100%として、川底から観測した割合の記載。  
(※観測員が水位計用「深層水位観測用フローチャート」に併記されている位置。) 観測員については運用上流がないため、右側と橋脚ブロック間の高さに観測員が併記する。  
※2 水源地から観測断面までの距離を記載する。  
(運河利用区間を除き、観測員が併記している場合は距離を記載しない。) 併記している場合は、観測員が併記しているため記載しない。

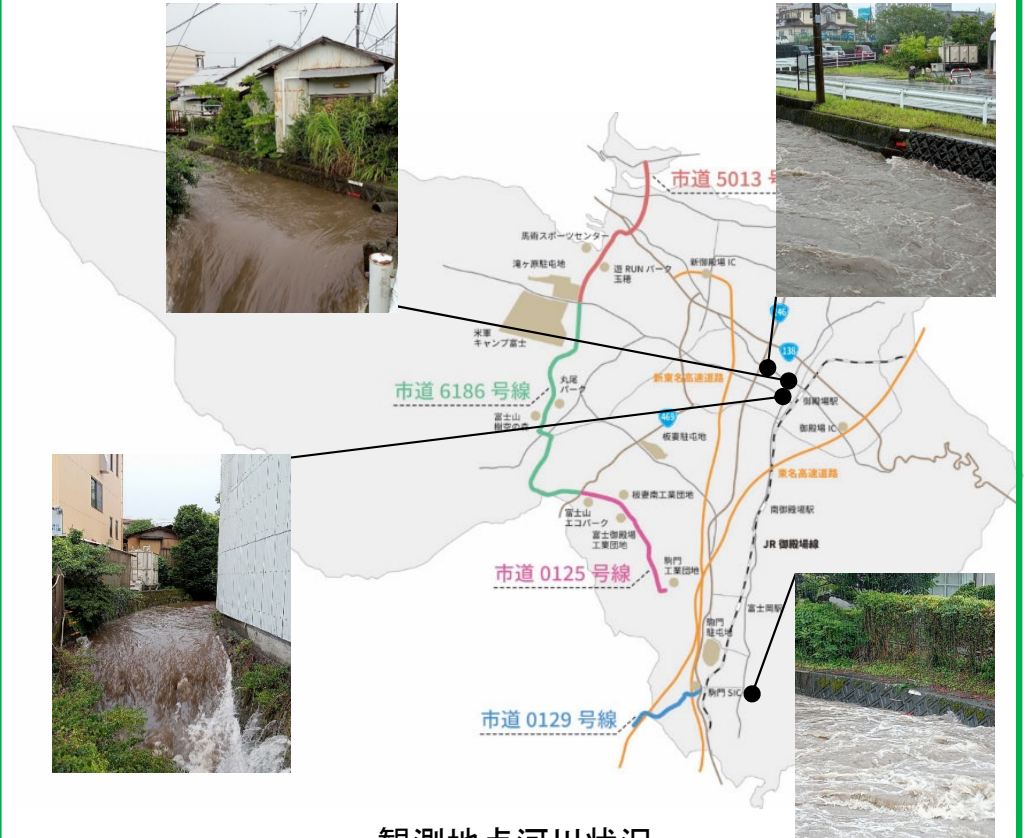
＜御殿場消防署＞

河川水位調査票

### 令和4年度取組予定

重点取組事項：②洪水時における情報提供の充実  
取組項目：水害危険性の周知促進（取組番号：5）

河川水位状況の観察時の画像をビジネスチャットを利用し部局内で情報共有すると共に、危機管理部局へ情報提供できる体制をとる。



観測地点河川状況



## 令和3年度取組実績

重点取組事項：⑥水防活動の充実  
取組項目：水防訓練の充実（取組番号：32）

毎年、出水期を迎える前の5月に、危機管理部局へ依頼し、消防団員（兼水防団員）に対する水防訓練を行っている。

令和3年度は、座学として「防災マップを活用した被害想定等の確認等」、実技として「改良積み土のう工法作成要領」を実施した。



防災マップの確認



各地区防災マップ



土のう積み工法

## 令和4年度取組予定

重点取組事項：⑥水防活動の充実  
取組項目：水防訓練の充実（取組番号：32）

引き続き、大雨等による水災害に対して円滑な水防活動ができるよう、昨年度の未受講者を対象に訓練を実施した。

来年度以降も、危機管理部局と訓練内容について検討し、訓練を継続していく。



水防計画について



土のう作成



土のう積み工法



訓練講評

### 令和3年度取組実績

重点取組事項：水防関係機関との連携  
取組項目：各会議等への参加（取組番号：33）

菊川水防連絡会委員会 参加（4/14）  
天竜川水防連絡会委員会 参加（4/14）  
狩野川洪水予報連絡会 参加（6/8）  
静岡県東部地域大規模氾濫減災協議会 参加  
（6/15）  
静岡県水防協議会 参加（R4/3/22）

### 令和4年度取組予定

重点取組事項：水防関係機関との連携  
取組項目：各会議等への参加（取組番号：33）

引き続き、各会議等へ積極的に参加し、水防関係者間での連携、協力に関する検討を図る

## 令和3年度取組実績

重点取組事項：車両避難計画の策定

取組項目：車両避難計画の策定

(取組番号：32)

豪雨による自然災害時の防災対策として、鉄道車両避難計画を策定した。これにより豪雨の際に車両をハザードマップの浸水エリア外の下記5駅に避難して、被害を軽減する。  
(避難実績は無し)

留置可能想定駅の留置可能本数

三島駅 最大3編成

三島田町駅 最大3編成

田京駅 最大2編成

大仁駅 最大2編成

修善寺駅 最大5編成

(踊り子車両を含めない場合は6編成)

想定車両避難計画内容

## 令和4年度取組予定

重点取組事項：情報伝達訓練の実施

取組項目：情報伝達訓練の実施

(取組番号：32)

毎年9月に実施している防災訓練の情報伝達訓練について、実践を意識して緊張感をもって実施していく。そして、引き続き防災知識および防災応急行動の再確認をする。



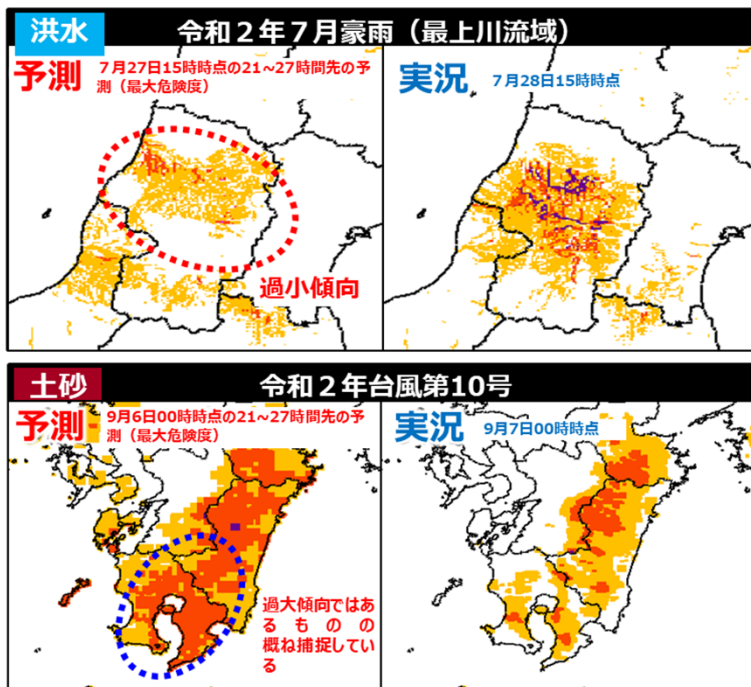
防災訓練風景

### 令和3年度取組実績

重点取組事項：洪水時における情報提供の充実  
 取組項目：洪水予測や河川水位の状況に関する解説（取組番号：08）

#### 1日先の予想「危険度分布」等の提供開始を検討

台風による大雨など可能な現象について、より長時間のリードタイムを確保した警戒の呼びかけを行うため、1日先までの雨量予測を用いた「危険度分布」の提供開始を目指す。予測精度を検証した上で、精度も考慮した呼びかけ方や表示方法の具体について検討していく。



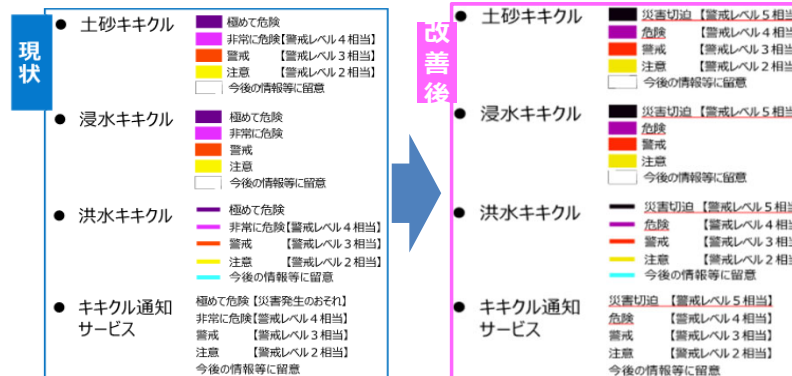
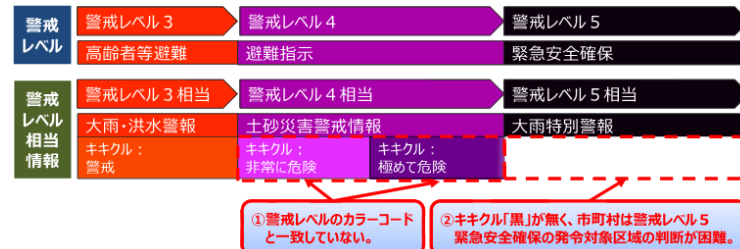
### 令和4年度取組予定

重点取組事項：洪水時における情報提供の充実  
 取組項目：危険レベルの統一化等による災害情報の充実と整理（取組番号：07）

#### 警戒レベルとキキルのカラーコードの統一

大雨特別警戒の基準値への到達を示す「災害切迫」（黒）を警戒レベル5相当として新設。これまでの「非常に危険」（うす紫）と「極めて危険」（濃い紫）を統合し、警戒レベル4相当の「危険」（紫）に一本化。

これにより、キキルと警戒レベルとの齟齬を解消し、警戒レベル相当としてより分かりやすく伝える。



令和4年度取組

キキクル（危険度分布）「黒」の新設と「うす紫」と「濃い紫」の統合

【令和4年6月30日から実施】

「黒」と「紫」の意味と住民等の行動例 ～土砂災害の例～

現状			改善後		
色が持つ意味	状況	住民等の行動の例	色が持つ意味	状況	住民等の行動の例
極めて危険	命に危険が及ぶ土砂災害がすでに発生しているにもかかわらず状況。	<b>この段階の前に避難を完了しておく。</b>	災害切迫 【5相当】※	命に危険が及ぶ土砂災害が切迫。土砂災害がすでに発生している可能性が高い状況。	(立退き避難動かえて危険な場合) <b>命の危険 直ちに身の安全を確保！</b>
非常に危険 【4相当】	命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況。	土砂災害警戒区域等の外へ <b>避難する。</b>	~~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~~		
警戒 【3相当】	土砂災害への警戒が必要な状況。	<b>高齢者等は土砂災害警戒区域等の外へ避難する。</b> 高齢者等以外の方も、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自ら避難の判断をする。	危険 【4相当】	命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況。	土砂災害警戒区域等の外へ <b>避難する。</b>
注意 【2相当】	土砂災害への注意が必要な状況。	ハザードマップ等により避難行動を確認する。今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	※ 警戒レベル5相当情報が出たからといって、必ず緊急安全確保が発令されるわけではない。		
今後の情報等に留意		今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	◆ 「警戒」(赤)、「注意」(黄色)、「今後の情報等に留意」(無色)については変更なし。		

「災害切迫」(黒)は、土砂災害がすでに発生している可能性が高い状況であり、土砂災害が発生する前にいつも出現するとは限りません。このため、「災害切迫」(黒)を待つことなく、「危険」(紫)が出現した段階で、速やかに安全な場所に避難することが極めて重要になります。

これまでの「特別警報」と「土砂災害警戒情報・警報」との関係の説明（「特別警報を待つことなく・・・」）ともリンクします

令和4年度取組

気象庁HPより

5段階の警戒レベルと防災気象情報

気象状況	気象庁等の情報		市町村の対応		住民が取るべき行動	警戒レベル		
数十年に一度の大雨	大雨特別警報	キキクル 災害切迫	氾濫発生情報	緊急安全確保 <small>※必ず発令される情報ではない</small>	命の危険 直ちに安全確保！ ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	5		
<警戒レベル4までに必ず避難！>								
大雨の数時間～2時間程度前	土砂災害警戒情報	高潮警報	高潮特別警報	危険	氾濫危険情報	避難指示 第4次防災体制 (災害対策本部設置)	危険な場所から全員避難 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	4
	※1 大雨警報 洪水警報	高潮警報に切り替える可能性が高い 注意報	警戒	氾濫警戒情報	高齢者等避難 第3次防災体制 (避難指示の発令を判断できる体制)	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	3	
大雨の半日～数時間前	大雨警報に切り替える可能性が高い 注意報	高潮注意報	注意	氾濫注意情報	第2次防災体制 (高齢者等避難の発令を判断できる体制)	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	2	
	大雨注意報 洪水注意報				第1次防災体制 (連絡要員を配置)	災害への心構えを高める	1	
大雨の数日～約1日前	早期注意情報 (警報級の可能性)				心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認			

※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3(高齢者等避難)に相当します。

「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

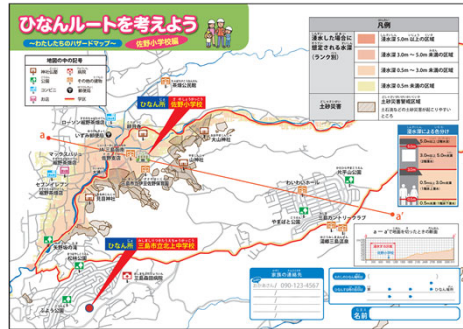
## 令和3年度取組実績

**重点取組事項：①防災教育等の促進**  
**取組項目：防災教育の推進（取組番号：20）**

平成28年度より狩野川流域の小学校を対象に「防災・河川環境教育」の支援に取り組んでいる。  
 令和3年度においては、計21校の小学校に対して、水害への備えや避難行動等について考える授業を実施するための教材作成等の支援を行った。



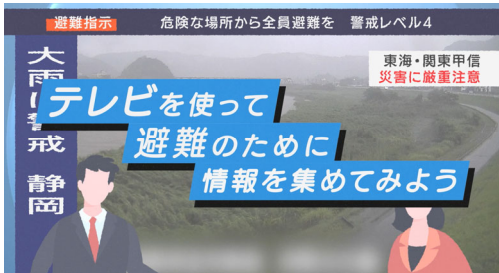
児童への配付資料



学校別ハザードマップ



授業の様子



映像教材

## 令和4年度取組予定

**重点取組事項：①防災教育等の促進**  
**取組項目：防災教育の推進（取組番号：20）**

引き続き、狩野川流域における「防災・河川環境教育」を支援する。令和4年度においては新たに2校を加えた計23校の小学校で、水害への備えや避難行動等について考える授業を実施する。



令和4年度 支援予定の小学校位置図

### 令和3年度取組実績

重点取組事項：⑤水防団（消防団）の組織強化  
取組項目：水防関係者間での連携、協力に関する検討（取組番号：33）

狩野川流域の水防活動を円滑に実施するため、狩野川流域の自治体及び水防団（消防団）、河川管理者等が合同で、狩野川で洪水に対しリスクが高い区間（重要水防箇所）の河川巡視を出水期前に実施しました。



伊豆市牧之郷地区  
(野尻川合流点付近)



三島市長伏地区  
(松毛川樋管付近)

#### ■参加者 107名

沼津市、三島市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、長泉町、清水町、水防団（消防団）、防災エキスパート、建設業協会、建設コンサルタント協会、沼津河川国道事務所

### 令和4年度取組予定

重点取組事項：⑤水防団（消防団）の組織強化  
取組項目：水防関係者間での連携、協力に関する検討（取組番号：33）

引き続き、重要水防箇所の河川巡視を出水期前に実施しました。（令和4年5月23日～24日）水防関係者間での連携を強化するため、今後も継続して実施していく予定です。



沼津市大手町地区  
(あゆみ橋付近)



長泉町本宿地区  
(黄瀬川付近)

#### ■参加者 98名

沼津市、三島市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、長泉町、清水町、水防団（消防団）、防災エキスパート、建設業協会、建設コンサルタント協会、沼津河川国道事務所



## 令和3年度取組実績

**重点取組事項：②洪水時における情報提供の充実**  
**取組項目：住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進（取組番号：23）**

大規模氾濫における人的被害を軽減するため、避難意識の更なる向上が必要であることから、「マイ・タイムライン」作成の推進とともに、より簡便で、様々な災害リスクに対応する「わたしの避難計画」により早期避難の意識醸成と災害時の避難行動の明確化を図ることとした。令和3年度は、県内モデル地区8箇所において、ワークショップを開催し、住民意見等を踏まえ、「わたしの避難計画」の雛形を作成した。

<伊豆の国市南條地区WSの様子 11/14、1/16南條区民ホール>



<清水町中徳倉地区WSの様子 10/3、11/21公民館みらい>

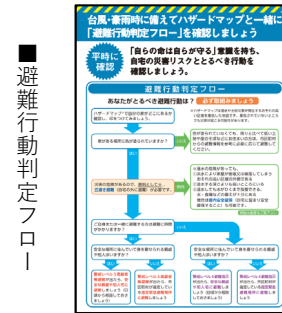


## 令和4年度取組予定

**重点取組事項：②洪水時における情報提供の充実**  
**取組項目：住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進（取組番号：23）**

### ■「マイ・タイムライン」について引き続き普及

・「避難行動判定フロー」や「マイ・タイムライン」の周知を行うとともに、ワークショップ開催の支援を行っていく。



避難行動判定フロー



マイ・タイムライン

### ■「わたしの避難計画」のモデル地区以外の地域への普及

・令和3年度に作成した雛形を情報提供し、市町への交付金による取組支援や、スマートフォンで「わたしの避難計画」を作成できるポータルサイトを構築するなど、普及への環境を整備していく。

清水町中徳倉地区で作成した雛形

## 令和3年度取組実績

重点取組事項：①防災教育等の促進  
取組項目：防災教育の推進(取組番号：20)ほか

### 風水害に関する防災教育の推進

管内の高等学校等を対象に防災出前講座を実施しており、令和3年度については、76回（沼津土木管内で55回）の出前講座を実施した。

講座ではハザードマップの見方や市町が発令する避難情報の意味の解説など、風水害に関する内容なども説明している。



### 市町風水害危機管理演習の実施

管内市町の防災担当職員を対象に、防災情報の取扱いや避難指示等の発令判断など防災対応力の向上を目的に演習を実施した。

<演習>（令和3年6月8日）

参加者：7市町11名

地域における風水害対策の強化に向け、当局が作成した「風水害対応イメージTEN」を活用し、風水害の時系列を意識した演習を実施した。



### 地域住民に対する意識啓発と防災指導の実施

<研修>（令和3年12月17日） 参加者：25名

地域住民の防災意識向上を図るため、地域防災指導員能力向上研修を実施し、「風水害対応イメージTEN」の演習などにより風水害への備えと対応力の強化を図った。

## 令和4年度取組予定

重点取組事項：①防災教育等の促進  
取組項目：防災教育の推進(取組番号：20)ほか

### 風水害に関する防災教育の推進

令和4年度についても、児童生徒や教員を対象に、防災について理解し、日頃の備えや適切な判断ができるよう、防災出前講座を実施する。講座の内容がより効果的になるよう防災講話に加えて、DIG等のグループ演習を取り入れている。



### 市町風水害危機管理演習の実施

令和4年度についても、訓練や演習を通じて、市町の防災対応力強化を図っている。

<演習>（令和4年6月9日）

参加者：9市町15名



### 地域住民に対する意識啓発と防災指導の実施

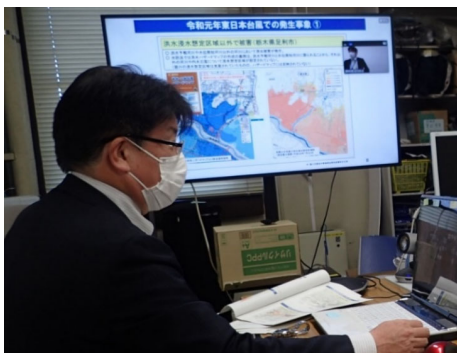
地域防災力を強化するため、住民一人一人の防災意識向上と避難行動の迅速化を図り、地域防災指導員等を対象に風水害への備えとその対応について継続的な啓発、指導を行っていく。令和4年度は、「風水害対応イメージTEN」研修を3回実施する予定。



令和3年度取組実績

重点取組事項：②洪水時における情報提供の充実  
 取組項目：水害危険性の周知促進  
 (取組番号：5)

- 地域防災力向上に関する市町の取組を支援するため市町職員を対象に河川事務等の研修会を実施
- ・土砂災害防止対策の推進に関する意見交換会 (令和3年5月)
- ・河川関係事務研修会 (令和3年9月)
- ・河川協会研修会 (令和4年2月)
- ※ 開催にあたっては静岡地方気象台の協力をいただきました。



(Webによる研修)

【河川協会研修会内容】 (令和4年2月16日)

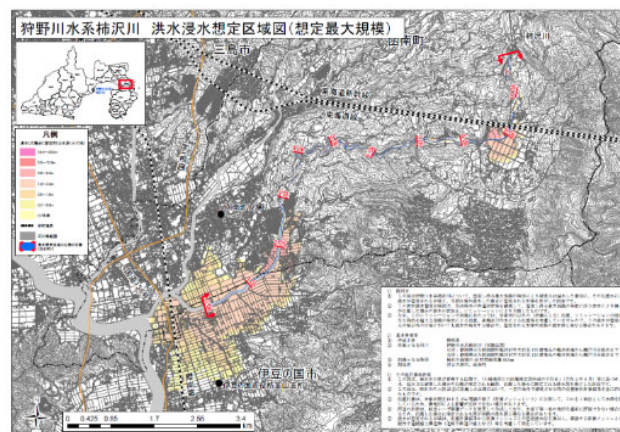
- 1 「最近の水害リスクの周知に関する話題」  
 河川企画課 課長 望月 嘉徳 氏
- 2 「気象庁危険度分布(キキクル)について  
 及び大雨事例の検証」  
 静岡地方気象台 水害対策気象官 工藤 美華子 氏
- 3 「水害ハザードマップの作成と活用について」  
 一般財団法人 河川情報センター 鮎川 一史 氏

○令和4年度以降も引き続き研修会等を実施

令和4年度取組実績・予定

重点取組事項：②洪水時における情報提供の充実  
 取組項目：水害危険性の周知促進  
 (取組番号：5)

- 中小河川の洪水浸水想定区域図の作成・公表
- 【令和4年度】 (34/99河川 公表)
- ・狩野川水系柿沢川ほか18河川の公表 (令和4年6月)
- ・八木沢大川水系八木沢大川ほか14河川の公表
- ・狩野川水系境川ほか11河川の作成
- 【令和5年度】 (65/99河川 公表) **沼津土木事務所管内99河川完了**
- ・狩野川水系境川ほか11河川の公表
- ・狩野川水系佐野川ほか52河川の作成・公表



柿沢川洪水浸水想定区域図 (R4.6公表)

令和3年度取組実績

令和4年度取組実績・予定

重点取組事項：①防災教育等の推進

取組項目：防災教育の推進（取組番号：20）

○コロナ禍における防災対策「事前に備える防災講座」動画を公開

- ・水災害リスク情報や避難方法等をテーマとした動画を作成し、YouTube（ユーチューブ）で公開
- ・動画のQRコードを掲載したパンフレットを作成し、配架

【取組による効果、ポイント】

・見学会や出前講座と違い、動画であれば、好きな時間に視聴可能、繰り返し視聴も可能である。



河川砂防局防災講座8

「マイ・タイムラインって何だろう？」

(R3.6.16配信開始)



河川砂防局防災講座9

「雨水貯留施設を知ってますか？」

(R4.5.18配信開始)

- ★ 令和2年度から実施  
現在9本の動画を公開
- ★ 今後も、継続して動画を作成



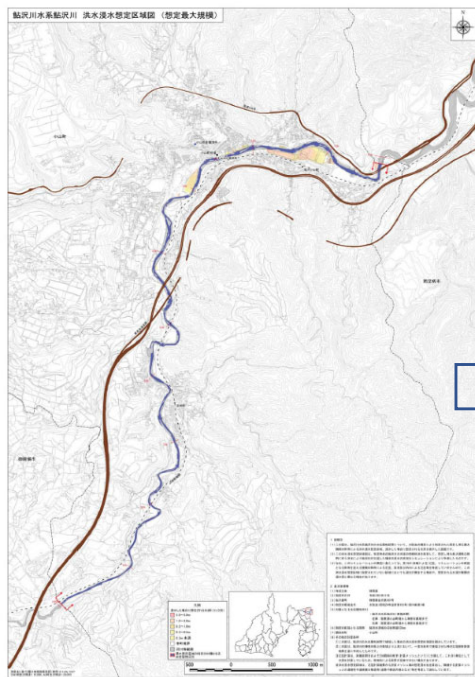
動画公開リンク先 QRコード

詳細情報：<https://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-320/kasen.html>

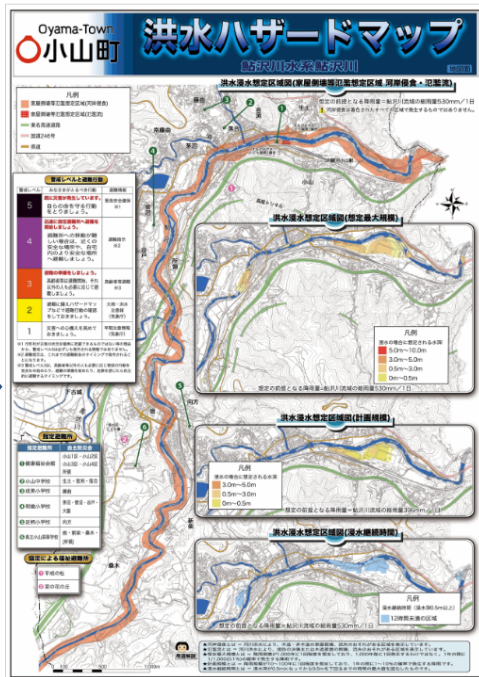
令和3年度の実績

重点取組事項：②洪水時における情報提供の充実  
 取組項目：浸水想定区域の早期指定、浸水想定区域図の作成・公表等（取組番号：15）

- 令和2年度末に二級河川鮎沢川水系鮎沢川を新たに水位周知河川に指定したことから、令和3年5月に洪水浸水想定区域を指定した。
- これを受け、令和4年3月には洪水ハザードマップの作成が完了し、地元説明会が開催されたことから、小山町と合同で水害リスク情報の周知促進を図った。



鮎沢川洪水浸水想定区域図  
（想定最大規模）R3.5



鮎沢川洪水ハザードマップ  
（小山町作成）R4.3

令和4年度の実績予定

重点取組事項：②洪水時における情報提供の充実  
 取組項目：洪水時における河川管理者からの情報提供等（取組番号：2）

- 水位周知情報等を迅速かつ的確に首長等に伝達するためのホットライン訓練を令和4年5月23日に実施した。



- また、情報伝達の方法及び経路を再確認するため、静岡県東部地域水防演習（情報伝達訓練）を令和4年6月22日に実施した。



- 情報伝達訓練
- 河川管理者
    - ・国土交通省沼津河川国道事務所
    - ・静岡県沼津土木事務所
  - 関係水防管理団体（東部地域全市町）
    - ・沼津市・三島市・御殿場市
    - ・裾野市・伊豆市・伊豆の国市
    - ・函南町・清水町・長泉町・小山町

令和3年度の実績

重点取組事項：⑦治水施設整備等の促進  
 取組項目：決壊までの時間を少しでも引き延ばす堤防構造の工夫（取組番号：22）

- ・避難までの時間を少しでも確保するため、一級河川狩野川水系柿沢川（県管理区間）及び葦山古川において、堤防天端舗装（危機管理型ハード対策）を実施した。



柿沢川施工前



柿沢川堤防天端舗装後



葦山古川施工前



葦山古川堤防天端舗装後

令和4年度の実績予定

重点取組事項：⑦治水施設整備等の促進  
 取組項目：堤防等河川管理施設の整備（取組番号：41）

- ・一級河川富士川水系沼川新放水路の整備については、県道富士清水線交差部涵体工への着手を予定している。
- ・一級河川狩野川水系来光川や境川等において、流下能力を向上させるための河道拡幅工事を引き続き進める。
- ・その他河川においても、既存の流下能力の最大化を図るため、支障木の伐採や堆積土砂の撤去（河床掘削）を着実に進めていく。



沼川新放水路下流工区(河口から沼川まで)

## 令和3年度取組実績

**重点取組事項：円滑かつ迅速な避難のための取組**  
**取組項目：要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の実施（取組番号：14）**

- 社会福祉法人等の指導監査
  - ・社会福祉法等に基づく指導監査において、防災管理体制や防災訓練の実施状況をチェックリストを活用し、書面及び電話で確認、指導
- 社会福祉施設等職員防災研修会
  - ・施設職員の防災意識の向上や知識の習得を図り、施設の防災対策力を高めることを目的とし、施設職員向けの研修を動画で配信
  - 【研修内容】  
要配慮者利用施設の避難訓練についての説明、地震防災アドバイザーによる講演 等
- 避難行動要支援者の避難支援対策等に係る意見交換会
  - ・危機管理部、交通基盤部と連携して、市町防災、福祉担当職員に対して意見交換会をオンラインで実施
- 浸水区域内要配慮者利用施設の支援
  - ・洪水浸水想定区域内に立地する社会福祉施設等が行う避難確保計画の策定や浸水対策資材等の整備を支援

## 令和4年度取組予定

**重点取組事項：円滑かつ迅速な避難のための取組**  
**取組項目：要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の実施（取組番号：14）**

- 社会福祉法人等の指導監査（継続）
  - ・社会福祉法等に基づく指導監査において、防災管理体制や防災訓練の実施状況をチェックリストを活用し、書面及び電話で確認、指導
- 社会福祉施設等職員防災研修会（継続）
  - ・施設職員の防災意識の向上や知識の習得を図り、施設の防災対策力を高めることを目的とし、施設職員向けの研修を実施する。
  - 【研修内容】  
要配慮者利用施設の避難訓練についての説明、地震防災アドバイザーによる講演 等
- 避難行動要支援者の避難支援対策等に係る取組支援（拡充）
  - ・危機管理部、交通基盤部と連携して、市町防災、福祉担当職員に対して意見交換会を実施する。
  - ・市町職員向け個別避難計画作成研修会を実施する。
- 浸水区域内要配慮者利用施設等の支援（拡充）
  - ・洪水浸水想定区域内、土砂災害警戒区域内に立地する社会福祉施設等が行う避難確保計画の策定や浸水対策資材等の整備を支援する。